

第2章 市民の健康を取り巻く状況

- 1 交野市の地域特性
- 2 健康づくり・食育の現状
- 3 地域の健康づくり活動内容
- 4 第2期計画の評価

1 交野市の地域特性

各種統計データをもとに、本市の現状や健康にかかわる特徴を以下にまとめました。

※詳細は資料編P50の「1 統計データからみる現状」をご覧ください。

人口・世帯	<ul style="list-style-type: none"> ・総人口は、平成22年（2010年）以降減少している。 ・少子高齢化が進み、令和2年（2020年）では0～14歳人口の割合は12.9%、65歳以上人口の割合は28.8%。 ・一般世帯数は年々増加している一方、1世帯当たり人員は減少している。
出生・死亡	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年（2013年）以降、死亡数が出生数を上回っている。 ・死因については、全国・大阪府と同様、悪性新生物、心疾患（高血圧性除く）の割合が高い。
健康寿命	<ul style="list-style-type: none"> ・交野市の令和4年（2022年）の健康寿命は、男性が81.6歳、女性が85.9歳で、男女ともに大阪府より高い水準で推移。 ・不健康な期間については、男女ともに各年大阪府より短い水準で推移。
要介護者等	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定者数は年々増加している。 ・要介護度別にみると、各年要支援1が最も多く、次に要介護1が多い。
がん検診	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診受診率は、女性がん（乳がん・子宮頸がん）の受診率が高い。 ・受診率の年次推移は、令和3年度（2021年度）に新型コロナウイルス感染症の影響で低下がみられたが、令和4年度（2022年度）から増加している。 ・令和4年度（2022年度）の受診率は、大阪府と比較すると低い水準となっている。
特定健診	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率は、令和4年度（2022年度）では33.0%となり、令和3年度（2021年度）を除いた各年度で大阪府より高くなっているが、全国と比較すると若干低い水準で推移している。 ・特定保健指導実施率については、各年度、全国・大阪府の値より非常に高い水準で推移。 ・メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合は、男女ともに増減を繰り返し、女性より男性の割合が高く、男性の約半数となっている。 ・高血糖については、基準値外が45.7%であり、受診勧奨値該当者のうち、未治療より治療中の割合が高い。 ・高血圧については、基準値外が52.4%であり、女性より男性の割合が高い。 ・脂質異常については、基準値外が53.9%であり、男性より女性の割合が高く、受診勧奨値該当者の未治療の割合が高い。
歯と口の健康	<ul style="list-style-type: none"> ・成人歯科健診受診率は、70歳を除いた年代で、平成30年（2018年）より令和4年（2022年）の値が高くなっている。 ・令和4年度（2022年度）のむし歯のないこどもの割合は、年代が上がるほど低くなっている。

2 健康づくり・食育の現状

令和6年（2024年）2月に実施した市民アンケートの結果を、過去の調査と比較し、健康・食育における現状と課題を以下にまとめました。

※詳細は資料編P61の「2 市民アンケートの結果からみる現状」をご覧ください。（前回調査結果は第2期計画より抜粋）

△：前回調査より改善

▼：前回調査より悪化

・：前回調査より変化なし、または比較できない

※前回調査：平成30年（2018年）

健康づくり全般	△成人対象調査において、自分は健康だと思う人の割合は75.3%で、前回調査を大きく上回っている。
健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・基本健診については、過去1年で受診した人の割合が成人全体で72.9%となっており、壮年期では80.0%と他の世代と比べて高く、青年期では65.2%と低い傾向にある。 ・がん検診については、過去1年で受診した人の割合が成人全体で42.2%、壮年期では51.7%、高齢期では46.6%となっている。 ▼小学生・中学生の「肥満」の割合は女子より男子が高く、前回調査と比較しても男子のみ上回っている。 △成人の「肥満」の割合は、20～69歳男性で28.0%と他の世代より高いが、前回調査を下回っている。 ▼16～18歳の「やせ」の割合は、男女とも成人と比べて高く、前回調査を上回っている。 ・20歳代女性の「やせ」の割合は24.2%で、前回調査とほぼ横ばいである。 ・地域活動の参加状況については、「参加していない」が最も高くなっている。
身体活動・運動	<ul style="list-style-type: none"> △幼児の外遊びの頻度は、「ほとんど毎日」の割合が最も高く、前回調査を大きく上回っている。 ▼小学生・中学生、16～18歳のうち、学校の授業以外で習慣的に運動している人の割合は、中学生が80.1%と最も高いが、いずれも前回調査を下回っている。 ▼成人の運動習慣「あり」の割合は、女性より男性の方が高く、年代が上がるほど高い傾向にあるが、いずれも前回調査を大きく下回っている。 ・日常生活でできるだけ身体を動かすよう心がけている成人の割合は、85.5%となっている。 ・言葉や内容の認知状況について、「言葉を聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」で14.5%、「フレイル」で23.0%となっている。

<p>栄養・食生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食を「ほとんど毎日」食べる割合は、成人青年期（71.0%）を除いた各世代で8割以上であり、16～18歳と高齢期のみ前回調査を下回り、その他は横ばいまたは上回っている。 △主食・主菜・副菜が揃った食事（1日2回以上）を「ほとんど毎日」食べる割合は、世代が上がるごとに高くなる傾向にあり、全体的に前回調査を上回っている。 △1日の野菜の平均摂取量は「1～2皿」の割合が最も高く、「5皿以上」の割合は7.9%と低い前回調査を上回っている。 ・1日の果物の平均摂取量は「あまり食べない（1日に1つつ未満）」の割合が最も高く、「よく食べる（1日に2つつ以上）」の割合は13.3%となっている。 ・減塩を「心がけている」成人の割合は54.4%であり、前回調査とほぼ横ばいである。 ・「現在、医師等から病気のために食事の指導を受けていますか。」に対し、「はい」と回答した人は「減塩を心がけている」の割合が高い傾向にある。 △よく噛み、ゆっくり食べていると「思う」成人の割合は43.6%であり、前回調査を上回っている。 ・1日の食塩摂取目標量について、「言葉を聞いたことがあり、内容も知っている」の割合は36.8%となっている。 ・こどもの食事のあいさつを「いつもしている」の割合は、中学生より小学生の方が低く、中学生は前回調査を大きく上回る一方、小学生はほぼ横ばいとなっている。 △家族と一緒に食事する頻度は、世代が上がるほど低くなる傾向がみられるが、全体的に前回調査を上回っている。 ・食育に関心がある成人の割合は66.9%であり、前回調査とほぼ横ばいである。 ・交野市の農産物を意識して購入している成人の割合は17.1%であり、前回調査とほぼ横ばいである。 ・食品ロスの認知状況について、「言葉を聞いたことがあり、内容も知っている」の割合は80.8%となっている。 △成人が食品ロス削減のために取り組んでいることについて、「料理を残さずに食べる」の割合が最も高く、次いで「賞味期限が過ぎてもすぐに捨てない（自分で食べられるか判断する）」の割合が高くなっており、前回調査を上回っている。
<p>歯と口の健康</p>	<ul style="list-style-type: none"> △歯石除去や歯面清掃を定期的に受けている成人の割合は60.7%であり、前回調査を上回っている。 △60歳（55～64歳）では、残存歯が「24本以上」の割合は67.3%で、前回調査を上回っている。 △40歳（35～44歳）の「喪失歯なし」の割合は66.3%であり、前回調査を上回っている。

<p>こころの健康</p>	<p>△睡眠で休養がとれていると思う成人の割合は46.2%で、前回調査を上回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平日の睡眠時間が長い人ほど、「睡眠で休養がとれていると思うか」に対し「（とれていると）思う」と回答する人の割合が高い傾向にある。 ・ ストレスを感じることがある成人の割合は75.9%であり、前回調査とほぼ横ばいである。 ・ 睡眠時間が短い人は、長い人と比較して『ストレスを感じることがある』と回答する割合が高い。 <p>▼ストレス解消法が「ある」成人の割合は70.3%で、前回調査を下回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生及び中学生の平日の就寝時間は、動画を見る時間やゲーム、SNSをする時間が長い人ほど遅い傾向にある。 ・ 中学生のうち、就寝時間が23時台の人は『ストレスを感じることがある』の割合が66.2%である一方、24時台の人は75.6%と高い傾向にある。 ・ 住民同士の助け合いや支え合いがあると感じる人の割合は、58.1%となっている。
<p>喫煙</p>	<p>△成人の喫煙率は9.5%であり、前回調査を下回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成人の禁煙したいと思っている人の割合は34.8%であり、女性の方が男性より高くなっている。 <p>△16～18歳の喫煙経験は0.8%であり、前回調査を下回っている。</p> <p>△幼児の前での喫煙率は4.9%であり、前回調査を大きく下回っている。</p>
<p>飲酒</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の割合は、成人男女ともに1割未満だが、男性は前回調査を下回っている一方、女性は上回っている。 <p>△16～18歳の飲酒経験は5.5%であり、前回調査を下回っている。</p> <p>△適正飲酒量について、「言葉を聞いたことがあり、内容も知っている」成人の割合は36.7%であり、前回調査を上回っている。</p>

3 地域の健康づくり活動内容

関係団体や企業に対するヒアリングから把握した、地域の健康づくりに関する活動状況について、分野ごとに体系化し、以下にまとめました。

活動分野		活動内容
健康管理	健康に対する意識啓発	(健康リーダー) イベント等でのがん検診などの啓発活動を行っている。
		(交野市校区福祉委員会) いきいき・ふれあいサロン、子育てサロンに健康に関する出前講座を招致することで、参加者に健康管理の大切さを伝えている。また、地域在住の看護師を講師によろず相談を行い、参加者の健康不安を解消している。
	定期健康診断の実施と健康づくり	(健康経営優良法人2024認定企業) 従業員に対する定期健康診断の周知や会社補助での実施等により、受診率100%を目指している。また、健診結果から2次健診が必要とされた方や、特定保健指導の対象となった方への受診勧奨を行っている。 その他の取り組みとして、年に一度の健康習慣アンケートの実施や健康セミナーの開催、体成分分析装置(Inbody)の実施により、身体の状態を把握している。また、毎月安全大会を開催し、全員参加で体操やウォーキングなどところと身体のセミナーを実施している。講師は外部セミナー講師を依頼するほか、担当者が調べて実施している。
身体活動・運動	介護予防	(元気アップメイト) 介護予防事業として、高齢介護課が育成した元気アップメイトを地域の公民館や集会所などに派遣し、元気アップ体操(ストレッチや筋力・口腔機能アップ、認知症予防の体操等)を実施している。
		(交野市校区福祉委員会) いきいき・ふれあいサロンでは、訪問看護ステーションの理学療法士による出前講座を招致することで、参加者に姿勢を正すことの大切さを伝えている。また、公式輪投げ、ダーツなどの催しを行うことで、参加者に脳と身体の運動の機会を提供している。さらに、地域包括支援センターの認知症に関する出前講座を招致し、周知・啓発を行っている。
	運動習慣を身につける	(健康リーダー) ウォーキングを楽しく続けるためのきっかけづくりとして、「星のまち歩く歩くDAY」という、交野のまちをウォーキングする催しを市とともに実施している。 (健康経営優良法人2024認定企業) 毎朝のラジオ体操やウォーキング、マラソン、ハイキング等のイベントを行い、従業員が運動習慣を身につけるための取り組みを実施している。

活動分野		活動内容
栄養・食生活	食育に関する周知・啓発	(交野・畷・大東地域活動栄養士会) 健康と福祉の意識向上を目的とした「交野市健康福祉フェスティバル」において、食育に関するブースを担当し、食育の啓発を行っている。
		(交野・畷・大東地域活動栄養士会) こども料理教室を開催し、食育に関する啓発を行っている。
		(Kid'sサポート☆かたの) 「かんたん薬膳」と調理実習をステップアップ講習会として開催したほか、畑部を立ち上げ、畑を借りて会員の希望者で管理して会員の交流を行っている。
		(交野・畷・大東地域活動栄養士会) 四條畷保健所がSNSで発信している減塩メニューのレシピづくりを行っている。また、四條畷保健所が行う食環境整備事業等に協力している。
	食生活の改善	(交野市校区福祉委員会) いきいき・ふれあいサロン、子育てサロンに食に関する出前講座等を招致することで、参加者にバランスの取れた食生活の大切さを伝えている。また、地域在住の元料理人を講師に料理教室を行い、参加者に調理の機会を提供している。
歯と口の健康	口腔ケアの啓発	(元気アップ体操) 元気アップ体操教室の中で、約10分間の口腔体操を実施している。
		(交野市校区福祉委員会) いきいき・ふれあいサロン、子育てサロンに歯科衛生に関する出前講座を招致することで、参加者に口腔ケアや健診受診の大切さを伝えている。
こころの健康	子育て世代のこころのケア	(主任児童委員) 市が実施するこんにちは赤ちゃん訪問（生まれてから4か月を迎えるまでの赤ちゃんの健康状態や産後の生活、育児支援に関する情報提供、育児相談等）で、民生委員・児童委員の訪問を希望する家庭に対して、「ようこそベビーちゃん事業」により、必要な情報提供を行っている。 また、市内各地域で校区福祉委員会が開催する子育てサロンの手伝いをする中で、子育て世代への声かけを行っている。
	メンタルヘルスのための取り組み	(健康経営優良法人2024認定企業) メンタルヘルスの外部相談窓口を設け、従業員の相談に対応しているほか、メンタルヘルスセミナーを実施している。また、1年に一度の個人面談で社員の個人的な悩みについて聞き、アドバイスを行っている。

4 第2期計画の評価

【達成度の評価方法】

「交野市健康増進計画・食育推進計画（第2期）」で設定した指標について、以下の基準で達成度を評価しました。

■具体的な目標値が設定されている場合

$$\text{達成度} = \frac{\text{現状値} - \text{策定時値}}{\text{目標値} - \text{策定時値}} \times 100$$

判定区分	判定基準
A 目標達成	達成度100以上
B 順調に改善	達成度50以上100未満
C やや改善	達成度0より大きく50未満
D 変化なし・悪化	達成度0以下
－ 判定不能	データがない、同じ基準で評価ができないなどの理由により、判定不能

■具体的な目標値が設定されていない場合

$$\text{達成度（ポイント）} = \text{現状値（％）} - \text{策定時値（％）}$$

《策定時値より増加・維持が目標である場合》

判定区分	判定基準
A 目標達成	達成度（策定時値との差）10ポイント以上
B 順調に改善	達成度（策定時値との差）5ポイント以上10ポイント未満
C やや改善	達成度（策定時値との差）0ポイントより大きく5ポイント未満
D 変化なし・悪化	達成度（策定時値との差）0ポイント以下
－ 判定不能	データがない、同じ基準で評価ができないなどの理由により、判定不能

※策定時値100%を維持の場合で現状値が100%の場合は目標達成（A）と評価している

《策定時値より減少が目標である場合》

判定区分	判定基準
A 目標達成	達成度（策定時値との差）-10ポイント以下
B 順調に改善	達成度（策定時値との差）-10ポイントより大きく-5ポイント以下
C やや改善	達成度（策定時値との差）-5ポイントより大きく0ポイント未満
D 変化なし・悪化	達成度（策定時値との差）0ポイント以上
－ 判定不能	データがない、同じ基準で評価ができないなどの理由により、判定不能

(1) 計画全体の指標

取り組み分野	指標	策定時 平成30年度※1 (2018年度)	現状値 令和5年度※2 (2023年度)	目標値 令和6年度 (2024年度)	評価	
計画書 全体	健康寿命の延伸	男性	80.29歳	81.60歳	2歳以上延ばす	B
		女性	83.68歳	85.90歳		A

※1：策定時値はH24～H28 健康寿命市町村別（大阪府データ）

※2：現状値はH30～R4 健康寿命市町村別（大阪府データ）

(2) 健康増進計画部分

取り組み分野	指標	策定時 平成30年度 (2018年度)	現状値 令和5年度 (2023年度)	目標値 令和6年度 (2024年度)	評価		
健康増進 計画全体	自分は健康だと感じている人の割合	48.1%	75.3%	55.0%	A		
健康管理	特定健診受診率（国民健康保険加入者）	33.9%	33.0% (令和4年度)	45.0%	D		
	すこやか健診（39歳以下健診）の受診者数	254人	164人	350人	D		
	健康リーダー活動実働人数（実人数）	50人	107人	75人	A		
	健康リーダー活動実施回数	43回	23回	55回	D		
	収縮期血圧が160mmHg以上または拡張期血圧100mmHg以上の人の割合	9.5%	7.0% (令和4年度)	減少	C		
	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合	28.9%	31.7% (令和4年度)	減少	D		
	特定保健指導の実施率	68.8%	70.6% (令和4年度)	70.0%	A		
	高血圧の治療が必要と診断された人に占める未治療者の割合	55.3%	52.7% (令和4年度)	減少	C		
	適正体重を維持して いる人の割合	肥満傾向のこどもの割合 ※1	小学5年生男子	8.2%	10.8%	減少	D
			小学5年生女子	5.9%	5.4%		C
			中学2年生男子	6.5%	6.7%		D
			中学2年生女子	3.0%	2.3%		C
	やせの割合	肥満者の割合	20～69歳男性	32.5%	28.0%	減少	A
			40～69歳女性	13.1%	12.2%		C
			16～18歳男性	22.0%	25.1%		D
	がん検診受診率 ※2	やせの割合	16～18歳女性	18.9%	24.6%	D	
			20歳代女性	22.2%	24.2%	D	
			胃がん	19.0%	5.1% (令和4年度)	25.0%	D
			肺がん	19.3%	8.0% (令和4年度)	25.0%	D
			大腸がん	20.7%	8.3% (令和4年度)	25.0%	D
前立腺がん			23.3%	17.3% (令和4年度)	30.0%	D	
身体活動 ・運動	外遊びを週4日以上している幼児の割合	乳がん	25.9%	19.3% (令和4年度)	30.0%	D	
		子宮頸がん	28.5%	30.3% (令和4年度)	35.0%	C	
		小学5年生	70.5%	64.4%	80.0%	D	
	学校や授業以外で、定期的に運動をしている こどもの割合	中学2年生	81.4%	80.1%	90.0%	D	
		16～18歳	59.1%	47.8%	65.0%	D	
	運動習慣者の割合 ※3	20～64歳男性	33.5%	20.8%	40.0%	D	
		20～64歳女性	16.2%	9.6%	20.0%	D	
		65歳以上男性	47.8%	32.2%	55.0%	D	
	地域元気アップ教室の参加者数	65歳以上女性	42.3%	22.8%	50.0%	D	
		実人数	815人	822人	増加	B	
地域元気アップ教室の拠点数	延べ人数	16,463人	14,021人	D			
	喫煙	地域元気アップ教室の拠点数	45か所	42か所	増加	D	
喫煙する人の割合		12.3%	9.5%	10.0%	A		
喫煙する妊婦の割合 ※4		2.2%	0.9%	0.0%	B		
喫煙経験のある未成年者（16～18歳）の割合		1.5%	0.8%	0.0%	C		
目の前でタバコを吸う家族がいる幼児の割合		20.4%	4.9%	15.0%	A		
公共施設における敷地内禁煙の割合	44.4%	100.0%	100.0%	A			

取り組み分野	指標	策定時 平成30年度 (2018年度)	現状値 令和5年度 (2023年度)	目標値 令和6年度 (2024年度)	評価	
飲酒	生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の割合	男性	16.6%	9.0%	15.0%	A
		女性	5.4%	7.5%	5.0%	D
	一日の適正飲酒量を知っている人の割合	32.7%	36.7%	40.0%	B	
	飲酒する妊婦の割合	3.3%	0.9%	0.0%	B	
	飲酒経験のある未成年者（16～18歳）の割合	7.7%	5.5%	0.0%	C	
こころの健康	睡眠によって休養がとれている人の割合	42.1%	46.2%	45.0%	A	
	早寝・早起きの規則正しい生活をしている小学生の割合	54.8%	54.1%	60.0%	D	
	ストレスを感じている人の割合	76.6%	75.9%	70.0%	C	
	ストレス解消法のある人の割合	78.9%	70.3%	85.0%	D	
歯と口の健康	歯科医院でフッ素塗布を受けている3歳児の割合	27.2%	31.0%	35.0%	C	
	むし歯がない3歳児の割合	85.3%	89.2%	88.0%	A	
	定期的な歯石除去や歯面清掃を年1回以上受けている人の割合	56.2%	60.7%	60.0%	A	
	成人歯科健診受診率	2.3%	3.1% (令和4年度)	10.0%	C	
	60歳で残存歯が24本以上ある人の割合	67.0%	67.3%	70.0%	C	
	40歳で喪失歯のない人の割合	58.0%	66.3%	75.0%	C	

- ※1：第2期計画の評価においては、策定時に合わせて「交野市健康意識調査（市民アンケート）」を現状値の出典としています。そのため、第3期計画の評価指標の現状値と数値は一致しません。
- ※2：第2期計画策定時と第3期計画策定時では統計上の分母（対象者）が変更となっており、第3期計画の評価指標の現状値と数値は一致しません。
- ※3：運動を「1回30分・週2回以上・1年以上継続」している割合
- ※4：第2期計画の評価においては、策定時に合わせて「母子手帳母子健康手帳発行時アンケート」を現状値の出典としています。第3期計画の評価指標の現状値と数値は一致しません。

(3) 食育推進計画部分

取り組み分野	指標	策定時 平成30年度 (2018年度)	現状値 令和5年度 (2023年度)	目標値 令和6年度 (2024年度)	評価	
食育推進計画全体	食育に関心を持っている人の割合	68.4%	66.9%	80.0%	D	
食でからだづくり	朝食を欠食する人の割合 ※1	幼児	2.7%	0.0%	0.0%	A
		小学生	4.0%	4.0%	0.0%	D
		中学生	8.4%	7.4%	5.0%	C
		16～18歳	8.0%	14.1%	5.0%	D
		青年期	24.0%	20.0%	15.0%	C
		壮年期	13.0%	8.4%	8.0%	B
		高齢期	3.2%	2.7%	0.0%	C
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合	青年期	34.7%	39.4%	40.0%	B
		壮年期	45.3%	52.5%	50.0%	A
		高齢期	65.8%	72.7%	75.0%	B
野菜を摂る人の割合	緑黄色野菜をほぼ毎日食べるこどもの割合	小学生	65.2%	-	80.0%	-
		中学生	54.4%	-	65.0%	-
	1日に5皿以上の野菜※2を食べる人の割合	5.1%	7.9%	増加	C	
	減塩を心がけている人の割合	55.6%	54.4%	60.0%	D	
	食べ物をよくかんで、食べている人の割合	38.1%	43.6%	45.0%	B	
食でこころ豊かに	食事のあいさつをいつもすることの割合	小学生	79.1%	77.4%	増加	D
		中学生	76.4%	90.4%	増加	A
	朝食または夕食を家族と一緒にとることがほぼ毎日の人の割合	幼児	71.7%	93.8%	増加	A
		小学生	81.6%	90.4%	増加	B
		中学生	61.7%	75.2%	増加	A
		16～18歳	64.6%	73.9%	増加	B
成人	62.4%	64.5%	増加	C		
	食品ロス削減のために何らかの取り組みをしている人の割合	94.6%	96.8%	95.0%	A	
食を広げる	交野市の農産物を意識して購入している人の割合	16.0%	17.1%	増加	C	
	行事食や食のマナーを子どもや地域の人に伝えていく人の割合	39.6%	-	50.0%	-	

- ※1：朝食を「ほとんど食べない」の割合と「週2～3日」の割合の合計
- ※2：1日に必要な野菜の量の目安は5皿以上。1皿あたりは70g（中くらいのきゅうり1本程度）が目安